07

校種・教科等	高等学校・情報	受審番号		氏　名	

『高等学校　情報科』　模擬授業課題

（1） 日　　時　 令和6年〇月〇日　第〇校時（50分）

（2） 場　　所　 1年1組教室

（3） 学年・学級　第1学年1組（40名）　　使用教科書　高等学校　情報Ⅰ（数研出版）

（4） 単　元　名　第1編　情報社会の問題解決　第2章　情報社会における法とセキュリティ（P.20～P.37）

（5） 指導する児童（生徒）の状況

【既習事項】

・中学校では、情報セキュリティの仕組み、情報モラルについて学習している。

【単元のねらい】

・情報に関する法規・制度や情報社会における個人の責任、情報モラルにもとづいた行動について理解させる。

・個人情報やプライバシーの保護・活用に関連する法律の意義や目的、内容について理解させる。

・著作権などの知的財産権の保護の必要性とともに、そのために必要な法規及び個人の責任について理解させる。

・ユーザ認証やアクセス制御などの技術、セキュリティ対策の方法を理解させる。

【児童（生徒）の状況】

・情報社会と法規・制度、個人情報の適正な利活用と保護について、学んでいる（教科書 P20.～P.23 参照）

・1人1台端末及びアカウント（〇〇@kochi.or.jp）を所有している。

・クラスの雰囲気は明るく、授業中は積極的に活動する生徒が多い

（6） 指導計画（全6時間）

次（時数）		学習内容	活動・指導形態	評価計画
第一次	（1時間）	A 情報社会と法規・制度 情報社会、情報モラル、情報社会を支える法規・制度 B 個人情報の適正な利活用と保護 個人情報と個人情報の利活用、個人情報の適正な管理、個人情報の流出、プライバシーや肖像に関する権利、情報セキュリティポリシー、プライバシーポリシー	一斉 個人 グループ	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度
第二次	（2時間）	C 知的財産権 情報技術と知的財産権、著作権と産業財産権、著作権法、知的財産権の保護期間、知的財産権として保護されていない情報 **教科書 P.24～P.25　　（本時）** 著作権の分類、オープンラインセンス、身近な著作権侵害、著作権法で認められる引用	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
第三次	（3時間）	D 情報セキュリティ 情報セキュリティとは、情報セキュリティを脅かすさまざまな問題 E 情報セキュリティ対策のための技術 ユーザ認証、パスワードの注意点、パスワード以外を用いた認証、アクセス制御、ファイアウォール、ウイルス対策ソフトウェア、スマートフォンや電子機器のセキュリティ対策 F 情報セキュリティ対策への意識 架空請求やネットショッピングでの詐欺、フィッシング、ソーシャルエンジニアリング、スキミング	一斉 個人 グループ	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度

●面接終了後、メモ用紙とともにクリアファイルに入れて提出してください。